

令和6年度使用  
小学校用教科用図書選定のための資料

岩手県教育委員会

調査票		種目名 (国語)					
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	教出 (17)	光村 (38)	()	()	
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	「情報のとびら」を各領域と関連させて位置付け、「言葉相談室」や巻末の「言葉の広場」も活用して確実に習得できるよう配慮されている。	各単元の「言葉」「ここが大事」「言葉を増やそう」にポイントを示し、巻末の付録と併せて活用して確実に習得できるよう配慮されている。	巻末に「言葉の宝箱」や「学習に用いる言葉」を示すとともに、情報教材を効果的に位置付けて、確実に習得できるよう配慮されている。		
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	単元で身に付ける「言葉の力」を明確に示し、思考・判断を促す問いや「ポイント」を活用して学びを深めることができるよう工夫されている。	単元の学習の展開に沿ったポイントを示し、話合いの例を参考にしながら他者と交流して協働的に学びを深めることができるよう工夫されている。	単元の最初に問いを提示し、ノート例や考えのまとめ方の例等を参考にし、観点を捉えながら学びを深めることができるよう工夫されている。		
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	単元の見通しを重視した紙面構成や「ふり返る」で学習を価値付ける視点を示して、言葉がもつよさを認識しながら養われるよう工夫されている。	児童の実生活や他教科等との関連を重視した題材・話題等を効果的に取り上げ、言葉がもつよさを認識しながら養われるよう工夫されている。	巻頭の「国語の学びを見わたそう」において学び方や年間の学びの見通しを示し、言葉がもつよさを認識しながら養われるよう工夫されている。		
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	各学年とも重点的指導事項に即した言語活動を具体的に設定し、課題解決的な学習を通して、学年目標が達成できるよう工夫されている。	必要感のある課題に主体的に取り組むことを意図した言語活動を設定することを通して、学年目標が達成できるよう工夫されている。	各領域の学習内容を関連付けた言語活動や、資質・能力の三つの柱に沿った振り返りを通して、学年目標が達成できるよう工夫されている。		
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	各単元に「言葉の力」とその活用を促す「生かそう」を設定することにより、身に付けた力を他教科等で活用できるよう配慮されている。	目的意識や必然性を重視し、他教科等とも関連した教材を設定することにより、身に付けた力を他教科等で活用できるよう配慮されている。	「たいせつ」で身に付けた力をまとめ、「いかそう」で活用の視点を示し、身に付けた力を他教科等で活用できるよう配慮されている。		
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	教材配列が全学年共通の構成であり、系統性を重視した学習が螺旋的・反復的に進められるよう配慮されている。	全学年分冊の構成、内容の関連を重視した教材配列により、興味・関心をもって学習できるよう配慮されている。	領域ごとの系統性を踏まえ、習得した力を活用して螺旋的・反復的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。		
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	「季節の足音」を設けて季節感あふれる教材を取り上げ、児童が言葉の美しさを味わえるよう工夫されている。	地域の話題や行事に関連した教材や図書を紹介を通して、児童が興味・関心を高められるよう工夫されている。	季節に関連した言葉や詩歌、年中行事を通して、児童が季節を感じながら学習できるよう工夫されている。		

調査票		種目名 (国語)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	光村(38)	()	()
	3 内容と分量のバランスについて	児童の関心や発達段階を踏まえた教材をバランスよく配置し、実態に応じて計画的に学習が進められるよう配慮されている。	各学年の配当時数や教材間の連携を踏まえて教材を配列し、発達段階に応じた学習が進められるよう配慮されている。	全体を「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成し、習得した力を活用して学習が進められるよう配慮されている。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	各単元において、学習内容や考える観点を焦点化して示すことにより、児童が理解しやすいよう配慮されている。	各単元において、学び方の例を児童の姿で具体的に示すことにより、児童が理解しやすいよう配慮されている。	各単元の「たいせつ」で、学習内容の説明を端的に示すことにより、児童が理解しやすいよう配慮されている。		
	2 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	教材の内容理解を補完することに役立つ写真や図表を多く取り入れ、学習内容の理解を助けるよう配慮されている。	吹き出しの効果的な使用や図表の配置の工夫、見やすい配色等、視覚的にも学習内容の理解を助けるよう配慮されている。	具体的にイメージを広げることができる挿絵や写真を効果的に取り入れ、学習内容の理解を助けるよう配慮されている。		
	3 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	各学年の始めに、学習の進め方やノートの手作り方を示し、自ら学習に取り組むことができるよう配慮されている。	関連するページを全学年で示し、学習の状況に応じて、巻末の付録を適宜活用しながら学習できるよう配慮されている。	語彙と情報の扱い方の資料を巻末に折込形式で示すことにより、他教科等の学習でも活用しやすいよう配慮されている。		
	総合所見	単元の重点指導事項から身に付けたい力を明確に示した言語活動を位置付け、資質・能力が確実に育まれるよう配慮されている。また、単元の見通しや学びを価値付ける視点を重視し、主体的に学習を進められるよう配慮されている。	実生活や他教科等に関連した教材を設定し、必要感のある課題に取り組むことで資質・能力が確実に育まれるよう配慮されている。また、学習過程に沿って児童の反応例や交流の例を示し、協働的に学習を進められるよう配慮されている。	巻頭で示した学び方に沿った流れで単元を構成することにより、資質・能力が確実に育まれるよう配慮されている。また、児童が問いをもって学びを深める学習過程を通して、主体的に学習を進められるよう配慮されている。		

調査票		種目名 (書写)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	光村(38)	( )	( )
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	硬筆の中から課題を見出し、毛筆で学びを確かにして硬筆に生かす学習過程を大切に、知識及び技能が習得できるよう工夫されている。	字形や点画、配列などについて巻頭にまとめて提示したり、問いかけにより考えさせたりして、知識及び技能が習得できるよう工夫されている。	筆でなぞったり話し合ったりする活動を通して、書写の原理・原則を実感を伴って理解し、知識及び技能が習得できるよう工夫されている。	
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	習得した知識及び技能を確かめ、発展教材への生かし方を自己決定することで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。	発展教材を通して、文字の大きさや配列、字形等について事例を比較しながら、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。	文字の大きさや配列、筆記具の選択等、習得した知識及び技能を言語活動に生かし、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。	
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	シンプルな学習過程とマークにより1単位時間の学習の流れを分かりやすく示し、学びに向かう力等が養われるよう工夫されている。	教材や練習用紙を選択する単元や学習場面を設定することで、課題解決に向けて学びに向かう力等が養われるよう工夫されている。	巻頭に写真入りの学習の進め方、各教材に1単位時間の学習の流れを明示し、学びに向かう力等が養われるよう工夫されている。	
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	学んだことを日常生活に生かすことができるように教材を配列し、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	手紙やかかるた、ポスターなど、多様な様式を取り入れながら、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	国語の教材の学習時期と合わせた関連教材を全学年に設定し、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	他教科との関連教材をマークで意識付けるとともに、巻末に既習事項のページを設けるなど、他教科・他学年との関連について配慮されている。	他教科との関連教材を取り入れるとともに、先の学年の学習内容を知るページを設けるなど、他教科・他学年との関連について配慮されている。	他教科との関連教材を取り入れるとともに、全学年の内容をまとめたページを設けるなど、他教科・他学年との関連について配慮されている。	
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	知識及び技能を系統的に分類しながら重点化して配列し、児童が系統性を意識して学習できるよう配慮されている。	知識及び技能を系統的に配列するとともに、学習の基礎を全学年で提示し、繰り返し学習できるよう配慮されている。	知識及び技能を発達段階に応じて系統的に配列し、習得と活用を繰り返しながら学習できるよう配慮されている。	
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	年賀状、古典、漢詩、伝統工芸品、地域にまつわる文字などを取り上げ、季節や地域と関連付けるよう工夫されている。	書き初め、年賀状、暑中見舞い、寒中見舞い、短歌、郷土かるたなどを取り上げ、季節や地域と関連付けるよう工夫されている。	地域の書き初め、俳句、古典、伝統工芸品、地域ゆかりの字体などを取り上げ、季節や地域と関連付けるよう工夫されている。	

調査票		種目名 (書写)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	光村(38)	( )	( )
	3 内容と分量のバランスについて	毛筆と硬筆教材との配分を考慮して単元を配列し、毛筆と硬筆を関連させて効果的に学習ができるよう配慮されている。	明確な学習課題の提示により学習のねらいを焦点化し、1単位時間の授業の中で効果的に学習ができるよう配慮されている。	1教材1目標とすることで1単位時間の学習内容を焦点化し、明確なねらいにより効果的に学習ができるよう配慮されている。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	擬態語を使って点画の書き方を表現し、感覚的に理解できるよう配慮されている。	具体的な言葉を用いて詳しく説明し、運筆方法が理解できるよう配慮されている。	擬態語とキャラクターの動きにより、筆脈も含めた運筆方法が理解できるよう配慮されている。		
	2 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	毛筆教材に実際の半紙と同じ縦横比率を用い、文字の特徴を視覚的に捉えやすいよう配慮されている。	巻頭に学習の見通しに関する写真を豊富に位置付け、視覚的に捉えやすいよう配慮されている。	筆順について2色の線を用いながら大きな文字で表し、視覚的に捉えやすいよう配慮されている。		
	3 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	巻末に当該学年で学習する漢字を毛筆体で示し、字形等が確かめやすいよう配慮されている。	巻末に当該学年で学習する漢字が筆順とともに示され、確かめやすいよう配慮されている。	当該学年までに学習したことを項目ごとに整理して示し、確かめやすいよう配慮されている。		
	総合所見	自己決定を促す発展教材を位置付けながら、毛筆と硬筆との運筆を関連させた学習過程を大切に、資質・能力が身に付くよう工夫されている。また、知識及び技能を分類しながら重点化して配列し、系統的に学習できるよう配慮されている。	問いかけにより課題を見出したり、教材や練習用紙を自己選択する学習活動を設定したりする主体的な課題解決を通して、資質・能力が身に付くよう工夫されている。また、具体的な言葉の説明を豊富に掲載し、運筆方法が理解できるよう配慮されている。	国語の教材の学習時期と合わせた関連教材や実感を伴って書写の原理・原則を理解する学習活動を通して、資質・能力が身に付くよう工夫されている。また、擬態語とキャラクターの動きを通して、筆脈も含めた運筆方法が理解できるよう配慮されている。		

調査票		種目名 (社会)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	日文(116)	()	()	
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	重要語句を解説したり、索引や地図の読み取り方を示したりすることにより、基礎的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。	重要語句を解説したり、表やグラフのつくり方を示したりすることにより、基礎的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。	重要語句を解説したり、絵や写真の読み取り方を示したりすることにより、基礎的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。		
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	「いかす」では、選択・判断したり、参画・提案したりする活動により、思考力、判断力、表現力等を育むよう工夫されている。	「つなげる」では、選択・判断したり、構想したりする活動により、思考力、判断力、表現力等を育むよう工夫されている。	「深め合い」では、複数の考えを交流し、掘り下げて追究することにより、思考力、判断力、表現力等を育むよう工夫されている。		
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	見通しと振り返りを重視した「学習の進め方」を示し、学びに向かう力等を養うことができるよう工夫されている。	問題解決的な学習の流れを「学習の進め方」で示し、学びに向かう力等を養うことができるよう工夫されている。	問題の多様な追究方法を選択できる「学習の進め方」を示し、学びに向かう力等を養うことができるよう工夫されている。		
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	見方・考え方に応じたイラストの提示やまとめの段階での多様な活動によって、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	吹き出しによる見方・考え方の提示や対話を重視した活動によって、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	学習活動に応じた見方・考え方の提示やノートの記述の例示によって、教科目標の達成や言語活動の充実が図られるよう配慮されている。		
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	「教科関連マーク」で、他教科の学習内容と関わる箇所を示し、他教科等と関連させて学習ができるよう配慮されている。	巻頭の「他の教科などとの関わり」で、内容のつながりを示し、他教科等と関連させて学習ができるよう配慮されている。	SDGsと関連付けた「未来につなげる」コーナーを設け、他教科等と関連させて学習ができるよう配慮されている。		
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	めあてを構造的に示すことで問題解決的な学習が展開できるよう、全体構成を工夫し、単元・題材が配列されている。	小単元や単位時間の問いを重視して問題解決的な学習が展開できるよう、全体構成を工夫し、単元・題材が配列されている。	児童の思考の流れを考慮して問題解決的な学習が展開できるよう、全体構成を工夫し、単元・題材が配列されている。		
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	世界遺産として平泉町、再生可能エネルギーの一つとして八幡平市の地熱発電所を取り上げ、身近な事象に関心をもって追究できるよう配慮されている。	キャベツづくりとして岩手町、災害から私たちを守る政治の事例として釜石市を取り上げ、身近な事象に関心をもって追究できるよう配慮されている。	自然災害への備えとして山田町、東日本大震災の事例として宮古市などを取り上げ、身近な事象に関心をもって追究できるよう配慮されている。		

調査票		種目名 (社会)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	日文(116)	()	()
	3 内容と分量のバランスについて	選択する内容を精選し、効率よく指導計画を作成できるよう配慮するなど、内容と分量のバランスが工夫されている。	選択する内容の種類を多くし、柔軟に指導計画を作成できるよう配慮するなど、内容と分量のバランスが工夫されている。	選択する内容の分量を充実させ、適切に指導計画を作成できるよう配慮するなど、内容と分量のバランスが工夫されている。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	平易な文章で簡潔な表現を基本としつつ、必要に応じて丁寧な表現を用いるなど、分かりやすさに配慮されている。	平易な文章で丁寧な表現を基本としつつ、必要に応じて端的な表現を用いるなど、分かりやすさに配慮されている。	本文を三つの役割に分けた表現を基本としつつ、必要に応じてその軽重を調整するなど、分かりやすさに配慮されている。		
	2 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	適所に「UDフォント」を使用するとともに、図表などの資料も含めカラーバリエーションを採用するなど、分かりやすさに配慮されている。	本文の「UDデジタル教科書体」をはじめ、用途に応じてユニバーサルデザインフォントを使用するなど、分かりやすさに配慮されている。	本文に「UDデジタル教科書体」を使用するとともにレイアウトを工夫し、中心資料を大きく配置するなど分かりやすさに配慮されている。		
	3 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	デジタル教材につながる二次元コードを配置するとともに、5年生と6年生は内容のまとまりで分冊の二巻構成とするなど、使いやすさに配慮されている。	デジタル教材につながる二次元コードを配置するとともに、発達段階や学習内容によって索引の構成や示し方を変えるなど、使いやすさに配慮されている。	デジタル教材につながる二次元コードを配置するとともに、巻頭で複数の写真資料と併せて学習内容を端的に示すなど、使いやすさに配慮されている。		
	総合所見	選択・判断や、参画・提案する活動を重視し、問題解決的な学習を展開することにより、思考力、判断力、表現力等を育むことができるよう工夫されている。また、めあてを構造的に示したり、5年生と6年生は分冊にしたりすることで、内容のまとまりを意識して学習が進められるよう配慮されている。	選択・判断したり、構想したりする活動を重視し、問題解決的な学習を展開することにより、思考力、判断力、表現力等を育むことができるよう工夫されている。また、選択する内容の種類を多くしたり、身近な地域の事象を数多く取り上げたりすることで、関心をもって追究できるよう配慮されている。	考えを交流し、深く追究する問題解決的な学習を展開することにより、思考力、判断力、表現力等を育むことができるよう工夫されている。また、SDGsと関連のある現代的な諸課題を追究する場面に適切に設けることで、よりよい未来に向けて主体的に考えることができるよう配慮されている。		

調査票		種目名 (地図)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	帝国(46)	()	()	()	
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	巻頭に地図学習のページを設け、地図に関する基礎的な知識及び技能の習得を図ることができるよう配慮されている。	地図の使い方をスモールステップで示し、地図学習の知識及び技能の習得を図ることができるよう配慮されている。			
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	地理的な根拠などを考えるきっかけとなる資料地図や問いを掲載し、思考力、判断力、表現力等を育むことができるよう工夫されている。	深い地理的理解につながるキャラクターの台詞や問いを掲載し、思考力、判断力、表現力等を育むことができるよう工夫されている。			
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	問いや作業について主体的に取り組むような仕掛けを通して、学びに向かう力、人間性等が養われるよう工夫されている。	現代的な諸課題に主体的に参画するコーナーを通して、学びに向かう力、人間性等が養われるよう工夫されている。			
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	課題解決に必要な資料や情報を掲載し、児童が主体的に社会の様子を追跡できるよう配慮されている。	社会科の教科書を補う情報を掲載し、児童が社会の様子を深く理解することができるよう配慮されている。			
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	他教科での活用を視野に入れた資料が掲載されており、教科等横断的な学習の展開が図られるよう工夫されている。	広く見わたすことができる地図と詳しい地図を掲載し、発達段階に沿った学習が実現できるよう工夫されている。			
2 組織配分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	地図学習、日本地図、世界地図、統計資料という構成になっており、各学年の学習がスムーズにつながるよう工夫されている。	大まかな日本地図、詳しい日本地図、世界地図という構成になっており、各学年の学習がスムーズにつながるよう工夫されている。			
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	全国各地の建物、街並み、祭り、郷土料理などの伝統文化を豊富に扱い、身近な事象として追跡できるよう配慮されている。	世界の主要な国の様子を捉えるコーナーを設け、世界の国々とのつながりを身近な事象として追跡できるよう配慮されている。			

調査票		種目名 (地図)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	帝国(46)	()	()	()
	3 内容と分量のバランスについて	各学年の学習内容がバランスよく取り扱われ、情報が過剰にならないよう配慮されている。	見開き1ページで扱う内容を精選し、児童が理解しやすい情報量になるよう配慮されている。			
3 使用上の 配慮や 工夫	1 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	キャラクターの台詞や各ページに示されている問いが親しみやすい言葉で表現されており、分かりやすさに配慮されている。	地図学習の導入部分では、当該学年児童に問いかける言葉で表現されており、分かりやすさに配慮されている。			
	2 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	UDフォントや反射の少ない紙を使用し、見やすく地形の様子を捉えることができるよう配慮されている。	立体感のある地図表現になる色づかいで、地形の特徴を視覚的に捉えることができるよう配慮されている。			
	3 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	目次や索引に一目で分かる記号やイラストを表記し、調べたい資料が判別しやすいよう工夫されている。	右側ページに色分けしたインデックスが配置され、必要な個所を見つけやすくなるよう工夫されている。			
	総合所見	地図の基本的な使い方の習得から始まり、児童が主体的に地理的理解を進めることができるよう配慮されている。また、社会科以外の教科でも使用できる情報も掲載され、児童が積極的に地図帳を活用できるよう工夫されている。	地図学習の入門期を大切にした紙面構成により、児童が興味・関心をもって意欲的に学習を進めることができるよう配慮されている。また、児童が地理的な様子をより視覚的に捉えることができるよう色づかいが工夫されている。			

調査票	種目名 (算数)						
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	啓林館(61)	
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	定着を図るデジタルコンテンツや学力調査結果を基にした復習のページを設定し、知識及び技能が習得できるよう配慮されている。	間違いやすい問題や基本となる考え方を示した問題を単元末にも設定し、知識及び技能が習得できるよう配慮されている。	単元末に習熟を図る問題や、誤答やつまずきやすい内容についての例を示し、知識及び技能が習得できるよう配慮されている。	つまずきや誤答を生かしながら振り返ったり発展的に考えたりする場を設定し、知識及び技能が習得できるよう配慮されている。	つまずきやすい問題が確認できるデジタルコンテンツを設定し、知識及び技能が習得できるよう配慮されている。
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	課題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考える場を設定し、思考力、判断力、表現力等を育むよう工夫されている。	計算などのアルゴリズムとプログラミングを関連させて考える場を設定し、思考力、判断力、表現力等を育むよう工夫されている。	課題解決に向けて働かせた数学的な見方・考え方を整理する場を設定し、思考力、判断力、表現力等を育むよう工夫されている。	課題解決に向けて考え方を表現できるデジタルコンテンツを設定し、思考力、判断力、表現力等を育むよう工夫されている。	問いや気付きから立てた「めあて」を生かして課題を解決する場を設定し、思考力、判断力、表現力等を育むよう工夫されている。
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	巻末の資料で、日常事象について考えることを通して数学的な価値を示し、学びに向かう力、人間性等を養うよう工夫されている。	吹き出しで問題解決の過程に沿って考え方や振り返りの例を段階的に示し、学びに向かう力、人間性等を養うよう工夫されている。	デジタルコンテンツで単元の導入場面を動的に捉えられるようにし、学びに向かう力、人間性等を養うよう工夫されている。	単元末で学びの価値や数学的な見方・考え方をイラストで示し、学びに向かう力、人間性等を養うよう工夫されている。	単元末で身近な話題について算数と関わりながら捉える問題を示し、学びに向かう力、人間性等を養うよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	多様な考え方を取り上げ、その相違点を表現し伝え合う活動を通して、言語活動が充実するよう工夫されている。	学び合いの視点や方法を示し、既習の活用を促すなど、言語活動が充実するよう工夫されている。	数学的な見方・考え方や学び合いの方法を具体的に示し、言語活動が充実するよう工夫されている。	学びを深めたり広げたりする問いや話し合う場を設定し、言語活動が充実するよう工夫されている。	自分の力で表現できるように説明や振り返りの例を示し、言語活動が充実するよう工夫されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	数の英語表記を示したり、気温の変化や食べ残しの量について考えさせたりするなど、他教科等とつながるよう配慮されている。	中学校数学の内容を示したり、英数字の読みをデジタルコンテンツで示したりするなど、他教科等とつながるよう配慮されている。	バランスのよい食事の組み合わせや食料と環境について考える活動を取り入れるなど、他教科等とつながるよう配慮されている。	単元を通して町探検計画と関わらせたり、和音の組み合わせを取り上げるなど、他教科等とつながるよう配慮されている。	折れ線グラフの書き方や考察のしかたを当該学年の早い時期に設けるなど、他教科等とつながるよう配慮されている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	他学年との学びのつながりを意識させるために既習の学年を示し、学びの連続性を意識できるよう構成されている。	学年1冊の合本とすることにより、1年間を見通して計画したり単元配列を入れ替えたりできるよう構成されている。	各単元において「課題把握」「理解」「定着」「学習したこと整理」の流れで学習が展開できるよう構成されている。	通年で用いる道具の使い方や数直線図のかき方などを巻末に位置付け、基礎的スキルが習得できるよう構成されている。	「割合」「データの活用」の内容を丁寧に扱い、下学年の内容や中学校数学の内容につながるよう構成されている。
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	少子高齢化や環境問題に関わるデータを読み取り判断する活動が設定され、社会に目が向くよう配慮されている。	建造物や伝統的な美術品を取り上げ、社会に見られる数学的価値について感じることができるよう配慮されている。	地球温暖化や実測できない地形など、数学的な見方・考え方を働かせて考察することで問題解決につながるよう配慮されている。	日本の伝統工芸や無形文化遺産など、身近な題材に興味・関心をもちながら学習を進めることができるよう配慮されている。	日本の森林面積や水害の問題に関するデータを取り上げ、SDGsの観点から今後の社会を考えることができるよう配慮されている。
	3	内容と分量のバランスについて	基礎的・基本的な内容をスパイラルに学習できるようにするとともに、概念、原理・原則の理解が十分に図られるよう配慮されている。	知識・技能を定着させる問題を豊富に位置付け、適用問題や単元末の問題番号を着色し、習熟度に応じて取り組めるよう配慮されている。	中学校への接続の内容を別冊にまとめるとともに、数学的な見方・考え方で学習を振り返ったり学びを広げたりすることができるよう配慮されている。	つまずきに対応したヒントを示すとともに、習熟に応じて選択できる問題や発展的に考える問題を設け、個に応じて取り組めるよう配慮されている。	各単元におけるレディネスをみる問題を巻末に設けるとともに、補充・発展の問題を設けて児童の実態や習熟に合わせて学習できるよう配慮されている。

調査票	種目名 (算数)						
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	啓林館(61)	
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	大事な箇所に印を付けて、まとめにある「大切な見方・考え方」に注目して学びの確認ができるよう配慮されている。	振り返りの具体例を丁寧に示し、単元を通して成長させたい大切な見方・考え方が意識できるよう配慮されている。	キャラクターの言葉からきまりや既習の考え方を示していること等を示し、大切な見方・考え方が意識できるよう配慮されている。	問題発見から課題解決、新たな問いにつながる流れを明確に示し、数学的な見方・考え方が意識できるよう配慮されている。	解決に向けて見通しの段階で数学的な見方・考え方を着色して示し、課題解決に生かすことができるよう配慮されている。
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	第1学年はじめの2単元をA4版の別冊とし、直接書き込みながら学習が進められるよう工夫されている。	単元の導入場面で、写真やイラストを用いて問題場面の状況を把握しやすいよう工夫されている。	紙面をA4版にし、見やすく整理するとともに、教科書上で作業しやすくなるよう工夫されている。	既習の学びと当該学年の学習内容を巻末に一覧で示し、学びの系統を把握できるよう工夫されている。	問題提示場面や児童に活動を促す場面で写真や挿絵を用いて実感的に理解できるよう工夫されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	巻頭で端末を用いて考えたことのまとめ方を例示し、表現力が高められるよう工夫されている。	巻頭で話し方や聞き方のポイントやよく使う考え方を示し、学び合いに生かせるよう工夫されている。	目次で既習単元とのつながりや次につながる単元を示し、配列の系統性がつかめるよう工夫されている。	索引で用語の意味が確認できるとともに、助数詞を一覧で示し、正確に表現できるよう工夫されている。	巻頭で学習過程で用いる考え方を示し、課題解決や発展的な問題に取り組めるよう工夫されている。
	総合所見		吹き出しの設定により統合的・発展的に考えたり数学的な見方・考え方の価値を再確認したりすることができるよう工夫されている。また、繰り返し取り組みながら定着させるデジタルコンテンツの設定により、知識及び技能が習得できるよう配慮されている。	話し合いの場面における児童の考えの例示により、数学的な活動の流れが体験的に理解できるよう工夫されている。また、単元の導入場面における写真等の提示により、算数の学習を日常生活や他教科に生かす学びに向かう力が養われるよう配慮されている。	誤答やつまずきやすい内容についての例示により、定着度を把握しながら個別に学習を進められるよう工夫されている。また、巻頭の見開きの活用により、働かせた数学的な見方・考え方を視点として学習を振り返ったり広げたりできるよう配慮されている。	問いが連続する学習過程の設定により、数学的な活動による課題解決を促すことができるよう工夫されている。また、事象における問題発見から活用までをサイクル化し、目的意識をもって主体的に学びに向かう力が養われるよう配慮されている。	つまずきなどに応じたデジタルコンテンツの設定により、個に応じた学びのサポートができるよう工夫されている。また、めあてとまとめの例示により、日常生活における問いや気付きを大切にしながら思考力、判断力、表現力等が育まれるよう配慮されている。

調査票		種目名 (算数)				
観点	項目・発行者名(番号)	日文(116)				
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	単元の前後に既習内容を確認したり定着を図ったりする問題を設定し、知識及び技能が習得できるよう配慮されている。			
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	数学的な見方・考え方を示して意識しながら学習を進める場を設定し、思考力、判断力、表現力等を育むよう工夫されている。			
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	図形を多面的・多角的に観察することなど、デジタルコンテンツを通して、学びに向かう力、人間性等を養うよう工夫されている。			
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	誤りの理由や考えの根拠について説明する活動を取り入れ、言語活動が充実するよう工夫されている。			
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	尺八の名前と長さの単位に関係があることや、一汁三菜の献立を考える活動など、他教科等とつながるよう配慮されている。			
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連について	単元末に間違いやすい問題や巻末に習熟に応じた問題を設定し、個に応じて学習が進められるよう構成されている。			
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	水資源やごみ減量などの社会問題に関する題材を取り上げ、日常生活の問題を算数の考えを用いて解決するよう配慮されている。			
	3	内容と分量のバランスについて	数学的な見方・考え方を働かせて発展的に考える問題や問題解決を実感できる探究的な問題が設定され、興味・関心に応じた指導ができるよう配慮されている。			

調査票		種目名 (算数)					
観点	項目・発行者名(番号)	日文(116)					
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	巻末のシートと連動して課題解決に用いる大切な見方・考え方を適宜示し、児童が思考しやすいよう配慮されている。				
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	定義とまとめをデザインで区別するとともに、字体を使い分けて見やすくなるよう工夫されている。				
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	数学的な見方・考え方が示されたシートを切り離すことができ、手元で確認できるよう工夫されている。				
	総合所見		紙面構成が工夫され、働かせたい数学的な見方・考え方を明示することにより、既習事項を活用しながら課題解決できるよう工夫されている。また、学習内容を繰り返し取り上げて定着を図ることで、生きて働く知識及び技能が習得できるよう配慮されている。				

調査票		種目名 (理科)					
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	大日本 (4)	学図 (11)	教出 (17)	信教 (26)	
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	「学ぶ前に」「学んだ後に」を設け、単元を通じた自身の成長を把握し、知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	「たしかめよう」を設け、知識・技能の習得状況を確認することを通して、知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	「ふりかえろう」を設け、学びのつながりを確認することを通して、知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	「問題」と「結論」が対応した表現で整理されており、問題解決を通して、知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	「ふりかえろう」を設け、問題解決の一連の過程を振り返る工夫を通して、知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	理科の見方・考え方を具体的に示し、それらを意識して働かせ思考する学習活動を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう配慮されている。	各学年を通して育成を目指す問題解決の力を示し、それを重視した問題解決学習を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう配慮されている。	問題解決の力を「理科モンスター」として示し、それを意識しながら追究する活動を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう配慮されている。	理科における見方・考え方のアイコンによる提示やイラストによる対話の例示を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう配慮されている。	各学年で重視される問題解決の力を示し、導入で問題の発見を促す活動場面を設け、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう配慮されている。
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	学んだことを日常生活や社会とつなげる読み物や活動を設け、学びに向かう力等が養われるよう配慮されている。	ものづくりの活動や学習したことと実社会との関連を示した資料を充実させ、学びに向かう力等が養われるよう配慮されている。	学習後に「もっと知りたい」を設け、日常生活や社会と関連する資料を示し、学びに向かう力等が養われるよう配慮されている。	「ふり返ろう」で、学習後に自分の成長を実感する視点を明記し、学びに向かう力等が養われるよう配慮されている。	「しらべてみよう」により、学んだことと実社会との関わりを深め、学びに向かう力等が養われるよう配慮されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	単元の導入に「レッツトライ」を設け、問題をつかむ学習活動を促し、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	単元末で「学んだことを生かそう」を設け、科学的な概念を用いた対話を通して、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	導入で「問題をみつけよう」を設け、学習で注目する視点を示すことを通して言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	「考え方のカギ」を示し、学んだことや経験と結び付けて考える活動を促し、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	学習内容に関連した事象やリード文を示し、問題意識を促すことで、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	「思い出そう」を設け、学習する内容と生活経験などを想起させながら他教科等との関連を図り、知識及び技能が習得されるよう配慮されている。	「ほかの教科ともつなげよう」を設け、他教科で学習した内容を示しながら他教科との関連を図り、知識及び技能が習得されるよう配慮されている。	他教科で学習した内容やグラフ、作文等の書き方の例を示しながら他教科との関連を図り、知識及び技能が習得されるよう配慮されている。	「自分たちの考えをつたえ合い、学び合おう」「算数とのつながり」を設け、他教科との関連を図り、知識及び技能が習得されるよう配慮されている。	実験結果の平均の求め方やグラフ・表にまとめる活動を取り入れ、他教科との関連を図り、知識及び技能が習得されるよう配慮されている。
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連について	単元の導入に「思い出そう」を設け、既習内容や生活経験とのつながりを生かした問題解決学習に取り組めるよう工夫されている。	単元に関係する既習内容や「中学校で学ぶこと」を注釈で示し、学習の連続性を意識して取り組めるよう工夫されている。	学習の進め方を確認し、解決の過程を紙面の下に示し、見通しをもって取り組むことができるよう工夫されている。	巻頭の既習内容のまとめや「思いだそう」を設け、学習のつながりを生かして問題解決学習に取り組めるよう工夫されている。	1年間の単元配列と学習の進め方及び導入時に調べる視点を示し、見通しをもちながら取り組むことができるよう工夫されている。
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	「B生命・地球」に関する写真やコラムが豊富に扱われ、生命愛護や環境保全に関連させて学習できるよう配慮されている。	「B生命・地球」に関する写真やコラムが豊富に扱われ、キャリア教育に関連させて学習できるよう配慮されている。	「B生命・地球」に関する写真やコラムが豊富に扱われ、安全・防災に関連させて学習できるよう配慮されている。	「B生命・地球」に関する写真やコラムが豊富に扱われ、SDGsに関連させて学習できるよう配慮されている。	「B生命・地球」に関する写真やコラムが豊富に扱われ、防災・減災に関連させて学習できるよう配慮されている。

調査票		種目名 (理科)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	信教(26)
	3 内容と分量のバランスについて	単元に、系統性を踏まえた科学的な概念の形成を促す内容を充実させながら、単元の内容と分量に偏りがないうように配慮されている。	既習内容や他教科との関連を整理し、系統的な内容などを充実させながら、単元の内容と分量に偏りがないうように配慮されている。	既習内容を踏まえたものづくりなどの内容を充実させながら、単元の内容と分量に偏りがないうように配慮されている。	五感や体感を働かせて、自然に直接関わる内容を充実させながら、単元の内容と分量に偏りがないうように配慮されている。	ものづくりの場면을複数設け、既習内容と関連した内容を充実させながら、単元の内容と分量に偏りがないうように配慮されている。
3 使用上の配慮や工夫	1 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	親しみやすい敬体を用いたり、「まとめ」を箇条書きにしたりするなど、分かりやすさに配慮されている。	「わかったこと」と「結論」について、説明を区別して示すなど、分かりやすさに配慮されている。	実験器具の使い方について、簡潔な言葉を用いた説明を示すなど、分かりやすさに配慮されている。	会話文などの文章を改行する際は、文節で改行するなど、分かりやすさに配慮されている。	「わかったこと」を箇条書きで簡潔にまとめるなど、分かりやすさに配慮されている。
	2 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	表紙から巻頭までをひとつながりのストーリーとするほか、学習の流れに沿った豊富なQRコンテンツを設けるなど、分かりやすさに配慮されている。	似たような実験内容が並ぶときは、適切な配色を行うほか、リモート学習でも活用できるウェブコンテンツを設けるなど、分かりやすさに配慮されている。	結果の写真を、比較しやすいよう並べて示すレイアウトの工夫のほか、ウェブコンテンツの二次元コードを多数掲載するなど、分かりやすさに配慮されている。	実物大や見開き表示によるダイナミックなイラスト写真の掲載のほか、「ウェブずかん」などの二次元コードを設けるなど、分かりやすさに配慮されている。	意図を明確にした写真・絵図・イラストを掲載するほか、観察・実験が難しい現象の映像を掲載した二次元コードを設けるなど、分かりやすさに配慮されている。
	3 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	目次を裏表紙に設け、単元を確認しやすくなっているほか、巻頭で領域ごとの見方を示すなど、使いやすさに配慮されている。	ウェブコンテンツへの二次元コードを、ページ下に固定表示し、探しやすくするなど、使いやすさに配慮されている。	巻頭において、4つの領域ごとに具体的な見方を示し、目次との関係を明確にするなど、使いやすさに配慮されている。	索引については用語だけでなく、幅広く検索できるよう項目ごとに整理されており、使いやすさに配慮されている。	目次に一年間の学習内容や季節暦を示すことで、学習活動に見通しをもてるようにするなど、使いやすさに配慮されている。
	総合所見	働かせる見方・考え方の具体的な提示を通して問題解決を促し、資質・能力が育成できるよう工夫されている。また、学習を通して自分がどのように変容したかを把握する場面を設け、学びが深まるよう配慮されている。	問題解決の力を重視した活動を設け、各学年において育成を目指す資質・能力が育まれるよう工夫されている。また、日常生活や社会とのつながりやものづくりの大切さを重視し、学びが深まるよう配慮されている。	導入で、重視する問題解決の力を具体的に提示し、主体的な問題解決を促しながら、資質・能力が育成できるよう工夫されている。また、学習したことと関連した日常生活等の資料を充実させ、学びが深まるよう配慮されている。	問題解決の流れの明示を通して、主体的な問題解決の活動を促し、資質・能力が育成されるよう工夫されている。また、学習後に自分の成長を実感できるよう振り返りを例示し、学びが深まるよう配慮されている。	自ら学ぶ楽しさを味わいながら、探究の道筋を歩む経験を通して、資質・能力が育成できるよう工夫されている。また、学んだことと日常生活との関わりやものづくりの意義を大切に扱い、学びが深まるよう配慮されている。

調査票		種目名 (理科)					
観点	項目・発行者名(番号)	啓林館(61)	( )	( )	( )	( )	
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	「はじめに考えよう・もう一度考えよう」で科学的な概念形成を促し、知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。				
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	マーカーで理科の見方・考え方を示し、それを働かせた問題解決の活動場面を設け、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう配慮されている。				
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	「もっと知りたい」を問題解決の過程に設け、新たな追究への意欲を高め、学びに向かう力等が養われるよう配慮されている。				
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	問題発見や予想、考察する際の視点をキーワードとして明確に示し、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。				
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	教科横断的な視点を踏まえた読み物などを充実させることを通して、他教科との関連を図り、知識及び技能が習得されるよう配慮されている。				
2 組織配分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	「思い出そう」を設け、既習内容や生活経験を振り返り、学習内容と関連させて問題解決に取り組めるよう工夫されている。				
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	「B生命・地球」に関する写真やコラムが豊富に扱われ、SDGsや環境教育に関連付けて学習できるよう配慮されている。				

調査票		種目名 (理科)				
観点	項目・発行者名(番号)	啓林館(61)	( )	( )	( )	( )
	3	内容と分量のバランスについて	系統性を生かした問題解決を促す学習内容を充実させながら、単元の内容と分量に偏りがないよう配慮されている。			
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	文字情報支援として動画コンテンツに字幕機能を採用し、分かりやすさに配慮されている。			
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	白を基調とした視認性を高める工夫のほか、観察・実験の技能に関わる動画やウェブ図鑑の二次元コードを設けるなど、分かりやすさに配慮されている。			
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	教科横断的な学びを促すために、他教科との関連性が分かるマークが使用されており、使いやすさに配慮されている。			
	総合所見		理科の見方・考え方を働かせた問題解決の活動を進める中で、資質・能力が育成できるよう工夫されている。また、「はじめに考えよう」と「もう一度考えよう」を設け、自己の成長などを可視化し、学びが深まるよう配慮されている。			

調査票		種目名(生活)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	信教(26)	
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	五感を使って身近な人々、社会及び自然と関わる活動を通して、その特徴やよさに気付くことができるよう工夫されている。	身近な人々、社会及び自然と一体的に関わる体験活動を通して、その特徴やよさに気付くことができるよう工夫されている。	遊びや体験活動を通して、身近な人々、社会及び自然と繰り返し関わり、その特徴やよさに気付くことができるよう工夫されている。	キャラクターの問いの投げかけで身近な人々、社会及び自然と関わり、その特徴やよさに気付くことができるよう工夫されている。	吹き出しを控えた写真や挿絵の様子から、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさに気付くことができるよう工夫されている。
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	分析的に考えるための多様な学習活動例を写真や挿絵、吹き出しで示し、思考力、判断力、表現力等が育まれるよう工夫されている。	表現の参考となる話型や表現方法を吹き出しや「せいかつことば」で示し、思考力、判断力、表現力等が育まれるよう工夫されている。	カードの書き方や観察の仕方の具体例を「ものしりのうと」で示し、思考力、判断力、表現力等が育まれるよう工夫されている。	「なにをかんじたかな」で気付きや考えを振り返り伝え合う活動を示し、思考力、判断力、表現力等が育まれるよう工夫されている。	学びの深まりや広がりにつながる感動体験や表現活動を複数例示し、思考力、判断力、表現力等が育まれるよう工夫されている。
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	対話している挿絵で単元末に思いや願いを実現する姿を捉え、次の活動や自分の生活に生かすことができるよう工夫されている。	活動後の児童の振り返りが、単元間の活動をつなぎ、次の活動や自分の生活に生かすことができるよう工夫されている。	吹き出しや写真により、児童が意欲的に活動している様子から、次の活動や自分の生活に生かすことができるよう工夫されている。	単元の目標に対応した振り返りの視点をもとに自己評価を行い、次の活動や自分の生活に生かすことができるよう工夫されている。	自分や友達の生活や成長及び地域との関わり方などを振り返り、次の活動や自分の生活に生かすことができるよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	児童の発達段階に即した振り返りや表現活動例(板書例、学習形態など)を多様に示し、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	話し合いや発表の仕方を示したり、発表・交流活動で児童が言語化できるように示したりして、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	学習活動が定着するように、学習活動の例や、上下巻末に「まなびかたずかん」を示し、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	上下巻ともに、最初は表現方法を選択できるようにし、後半は多様な伝え合う活動を示し、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	写真や挿絵から多様な表現活動のヒントを得ることができるように様々な例を示し、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	上巻は幼児期の育ちと学びを生かした単元の導入や学習活動例を示し、下巻は他教科との関連が図られるよう配慮されている。	上巻では「きらきらことば」を示し、人との関わりに着目することで、道徳教育との関連が図られるよう配慮されている。	上巻冒頭でスタートカリキュラムによる円滑な接続をねらい、表現活動を中心に他教科との関連が図られるよう配慮されている。	幼児期の学びの挿絵とスタートカリキュラムでの学びの写真を連動して示し、円滑な接続が図られるよう配慮されている。	体験活動や表現活動で示されている写真や挿絵から、他教科との学びの関連が図られるよう配慮されている。
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連について	学校から地域へと、技能や空間的な認識が段階的に高まるよう、大単元で思考や表現が繰り返し行える配列になるよう配慮されている。	児童の発達段階に応じ、季節の流れに沿った大単元で思考や表現が繰り返し行える配列になるよう配慮されている。	地域の実態に応じて活動時期が選択できるよう、活動領域の大単元で思考や表現が繰り返し行える配列になるよう配慮されている。	学校から地域へ活動や人との関わりが広がるよう、大単元で思考や表現が繰り返し行える配列になるよう配慮されている。	身近な人々、社会や自然と自分との関わりを中心にした単元で、思考や表現が繰り返し行える配列になるよう配慮されている。
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	季節による生活の変化や地域の伝統行事などを表す写真や挿絵から、季節や地域と自分の生活が関連付けられるよう配慮されている。	学習活動が季節を中心に展開できる多様な活動を示し、季節や地域と自分の生活が関連付けられるよう配慮されている。	季節の定点写真、街のイラストや各地の年中行事の写真などから、季節や地域と自分の生活が関連付けられるよう配慮されている。	地域の慣習や行事に目を向ける写真、「まなびリンク」などから、季節や地域と自分の生活が関連付けられるよう配慮されている。	季節の変化と関わりのある伝統行事や地域行事を繰り返し配列し、季節や地域と自分の生活が関連付けられるよう配慮されている。

調査票		種目名(生活)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	信教(26)
	3 内容と分量のバランスについて	季節の流れに沿い、関わる対象や空間が徐々に広がるよう上巻と下巻で構成し、単元の内容と分量に偏りが無いよう配慮されている。	季節の流れに沿った大単元で、学校の実情に応じて多様な活動ができるよう構成し、単元の内容と分量に偏りが無いよう配慮されている。	活動や体験の場が上巻は学校と周辺、下巻は地域へと徐々に広がるよう構成し、単元の内容と分量に偏りが無いよう配慮されている。	上巻は季節と学校、家庭生活、下巻は地域探検、栽培・飼育を中心に構成し、単元の内容と分量に偏りが無いよう配慮されている。	上下巻とも季節の流れに沿い、地域と「人間愛」を大切にした小単元で構成し、単元の内容と分量に偏りが無いよう配慮されている。
3 使用上の配慮や工夫	1 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	上巻は全てかな表記とし、簡潔な表現のつぶやきの言葉から、児童の学習内容の理解の助けにつながるよう配慮されている。	児童の思いや願い、つぶやきなどの表現を多く用いることで、児童の学習内容の理解の助けにつながるよう配慮されている。	キャラクターのつぶやきや会話が様々な児童の実態に対応しており、児童の学習内容の理解の助けにつながるよう配慮されている。	児童の思いやつぶやきが簡潔な言葉で表現されており、児童の学習内容の理解の助けにつながるよう配慮されている。	児童の思いや願いが、つぶやきや会話、作文などで示されており、児童の学習内容の理解の助けにつながるよう配慮されている。
	2 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	発達段階に応じて文字の大きさを調整し、A4サイズの紙面にダイナミックな写真を掲載するなど、児童の興味・関心を引き出すよう配慮されている。	カラー写真のほか、モノクロ写真を使用して児童の想像力を膨らませるような工夫があり、児童の興味・関心を引き出すよう配慮されている。	UDフォントとカラーユニバーサルデザインの配色や本文の見出しとカードの位置が揃えられており、児童の興味・関心を引き出すよう配慮されている。	個の特性に応じたカラーユニバーサルデザインと、読みやすい字形のUDフォントを使用し、児童の興味・関心を引き出すよう配慮されている。	国語と同様に縦書きを使用し、見出し、写真、イラスト等がバランスよく配置されており、児童の興味・関心を引き出すよう配慮されている。
	3 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	上下巻ともに、季節ごとに目次と小単元を色分けして見やすく示しており、使いやすいよう配慮されている。	上下巻ともに、見開き内の活動内容や具体的な課題が一目で分かるように提示され、使いやすいよう配慮されている。	上下巻ともに、目次の年間ごよみに活動の時期を示し、色で活動内容を区別するなど、使いやすいよう配慮されている。	上下巻ともに、目次に、いつどのような学習をするのかが分かるよう月ごとに単元を示し、使いやすいよう配慮されている。	上下巻ともに、目次に単元のまとまりが一目で分かるアイコンマークが位置付けられ、使いやすいよう配慮されている。
	総合所見	単元末に思いや願いを実現する姿を示し、次の活動や自分の生活に生かすことができるよう工夫されている。また、上巻全てをかな表記にするなど、児童の発達段階に合わせて理解できるように配慮されている。	表現の参考となる話型や表現方法を吹き出しなどで示し、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。また、季節の流れに沿った大単元で、学校の実情に応じて指導できるように配慮されている。	遊びや体験活動を通して身近な対象と関わり、その特徴やよさに気付くことができるよう工夫されている。また、キャラクターのつぶやきや会話から、様々な児童の実態に応じて理解できるように配慮されている。	キャラクターの問いかけで、身近な対象と関わり、その特徴やよさに気付くことができるよう工夫されている。また、個の特性に応じたカラーユニバーサルデザインで分かりやすいよう配慮されている。	学びの深まりや広がりにつながる感動体験や表現活動を示し、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。また、縦書きにより見出し、写真やイラストが分かりやすいよう配慮されている。

調査票		種目名(生活)				
観点	項目・発行者名(番号)	光村(38)	啓林館(61)			
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	導入の写真や吹き出しを生かし、身近な人々、社会及び自然と関わり、その特徴やよさに気付くことができるよう工夫されている。	身近な人々、社会及び自然と関わる視点をキャラクターの言葉で示し、その特徴やよさに気付くことができるよう工夫されている。		
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	気付きを深めるために、小单元ごとに学び方のヒントを定位置に示し、思考力、判断力、表現力等が育まれるよう工夫されている。	気付きの質を高めるよう分析的、創造的に考える多様な学習活動の例を示し、思考力、判断力、表現力等が育まれるよう工夫されている。		
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	小单元での感情と思考・態度の両面から振り返る活動を通して、次の活動や自分の生活に生かすことができるよう工夫されている。	振り返りの視点や、学びを生かそうとする姿を具体的に示し、次の活動や自分の生活に生かすことができるよう工夫されている。		
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	単元末では、自分の活動を様々な対話の中で振り返り、自分の言葉で表現できるように例を示し、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	伝える内容や相手に合わせて表現方法を自己決定できるように、巻末にまとめ方や伝え方の例を示し、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。		
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	児童が絵を見て関心を持ち、写真を手がかりに活動を進めることを通して、幼児期の学びと関連が図られるよう配慮されている。	下巻末で幼児期の学びと2年間の生活科を振り返り、3年生以降の学習との関連が図られるよう配慮されている。		
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	活動の流れを示す本編、別冊「ひろがるせいかつじてん」により、思考や表現が繰り返し行える構成になるよう配慮されている。	児童の気付き、思いや願いがつながるような小单元を構成し、思考や表現が繰り返し行える配列になるよう配慮されている。		
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	季節ごとの街の変化を定点から描いた挿絵が位置付けられ、季節や地域と自分の生活が関連付けられるよう配慮されている。	季節の行事や日本の文化への興味を引き出す写真や挿絵などを示し、季節や地域と自分の生活が関連付けられるよう配慮されている。		

調査票		種目名(生活)				
観点	項目・発行者名(番号)	光村(38)	啓林館(61)			
	3 内容と分量のバランスについて	季節の流れに沿い、学校や地域の実情に応じて学習できるよう構成され、単元の内容と分量に偏りがなくよう配慮されている。	2年間の学習を通して、活動の場が学校から地域へと広がるよう構成され、単元の内容と分量に偏りがなくよう配慮されている。			
3 使用上の 配慮や 工夫	1 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	児童同士の思いやつづやきを、対話形式で表現しており、児童の学習内容の理解の助けにつながるよう配慮されている。	児童の気付きや思いを端的に伝わる文章表現で示し、児童の学習内容の理解の助けにつながるよう配慮されている。			
	2 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	豊富な挿絵や写真で思いや願いを実現しようとする児童の姿を具体的に示し、児童の興味・関心を引き出すよう配慮されている。	小単元、本文、マーク、コーナーを定位置に固定して分かりやすく示し、児童の興味・関心を引き出すよう配慮されている。			
	3 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	上下巻ともに、目次で1年間の学習の流れを明示し、次項には教科書の使い方を示し、使いやすいよう配慮されている。	目次で単元の学習内容や巻末の「がくしゅうずかん」への索引が明示されており、使いやすいよう配慮されている。			
	総合所見	各小単元で感情と思考・態度の両面から振り返る活動を示し、次の活動や自分の生活に生かすことができるよう工夫されている。また、豊富な挿絵や写真で児童の興味・関心を引き出すよう配慮されている。	学習の振り返りの視点や学びを生かそうとする姿を示し、次の活動や自分の生活に生かすことができるよう工夫されている。また、小単元名、本文、コーナーなど定位置に固定し分かりやすいよう配慮されている。			

調査票		種目名 (音楽)				
観点	項目・発行者名(番号)	教出(17)	教芸(27)	( )	( )	( )
1 内容	1 「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として提示し、その働きを聴き取ったり感じ取ったりしながら、音楽活動を通して知識及び技能を身に付けられるよう工夫されている。	音楽を形づくっている要素を視覚的に提示し、その働きを聴き取ったり感じ取ったりしながら、音楽活動を通して知識及び技能を身に付けられるよう工夫されている。			
	2 「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	「学び合う音楽」として学び方の例を示したり、気付きや思いを引き出すような問いの例を示したりするなど、思いや意図をもって他者と協働しながら音楽活動に取り組むことができるよう工夫されている。	グループ活動時の会話を想定した吹き出しを示したり、作品例やワークシート例を示したりするなど、思いや意図をもって他者と協働しながら音楽活動に取り組むことができるよう工夫されている。			
	3 「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	「学習マップ」や「学習の進め方」コーナーで、学習の目的や留意点を簡潔に示したり、個別最適な学びを支援するための資料を提示したりするなど、学びに向かう力、人間性等を養うことができるよう工夫されている。	「学習マップ」や「ふり返りのページ」で、学習の見通しや振り返りの観点を示したり、生活の中にある音や音楽への関心を促す教材を配置したりするなど、学びに向かう力、人間性等を養うことができるよう工夫されている。			
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	見開きごとに学習のねらいと「まなびナビ」が示され、何をどのように学ぶかが明確になるよう工夫されている。また、「音楽を表すいろいろな言葉」を設定し、聴き取ったことや感じ取ったことを言語化できるよう配慮されている。	「考える」「演奏する」などのマークが示され、学習のねらいや学習活動が明確になるよう工夫されている。また、譜例や挿絵を用いた説明が位置付けられ、音楽表現などのイメージを共有化できるよう配慮されている。			

調査票		種目名 (音楽)				
観点	項目・発行者名(番号)	教出(17)	教芸(27)	( )	( )	( )
	5 他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	「ショートタイムラーニング」により、外国語に親しんだり算数や理科との関連を図ったりすることができるよう工夫されている。また、メッセージやコラムなどにより、復興教育や人権教育などとの関連が図られるよう工夫されている。	友達との触れ合いや自然や動植物を大切にしている歌詞や英語の歌を取り上げ、道徳、外国語教育などとの関連が図られるよう工夫されている。また、メッセージやコラムなどにより、復興教育との関連が図られるよう工夫されている。			
2 組織 配列 分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	題材を発達段階に応じてステップアップできるように系統的に配列し、表現活動と鑑賞活動を効果的に組み合わせることで、往還しながら学習を深めることができるよう構成されている。	題材を教材の特長を生かした多様な学習が展開できるように配列し、表現活動と鑑賞活動を効果的に組み合わせることで、往還しながら学習を深めることができるよう構成されている。			
	2 季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	全国の四季の祭りの音楽やお囃子、日本の民謡、わらべ歌や季節の歌などが豊富に取り上げられ、伝統と文化の尊重や郷土を愛する心を育むことができるよう配慮されている。	手遊び歌やわらべ歌、地域に伝わる伝統芸能など、生活に即した教材が幅広く取り上げられ、伝統と文化の尊重や郷土を愛する心を育むことができるよう配慮されている。			
	3 内容と分量のバランスについて	題材ごとに歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の複数の分野がバランスよく配置され、選択できる教材を組み合わせながら、段階的に学習を深められるよう工夫されている。	題材ごとに歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の各分野でバランスよく配置され、各題材において系統性を意識しながら段階的に学習を深められるよう工夫されている。			

調査票		種目名 (音楽)					
観点	項目・発行者名(番号)	教出(17)	教芸(27)	( )	( )	( )	
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	学習のねらい及び学習の仕方や手立てを端的に示し、新出の音楽用語の説明や内容が簡潔にまとめられており、学習内容や音楽用語が理解しやすくなるよう配慮されている。	学習のねらいの中に、視点や具体的な手立てを詳しく示し、新出の音楽用語の説明が分かりやすくまとめられており、学習内容や音楽用語が理解しやすくなるよう配慮されている。			
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	「まなびリンク」による豊富な動画や音源、見開きの写真やイラストなどが効果的に配置されており、分かりやすく学習ができるよう配慮されている。	「ムーブの部屋」による音源や資料、写真やイラスト、絵譜や挿絵などが効果的に配置されており、分かりやすく学習ができるよう配慮されている。			
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	目次にマークや記号の説明があり、題材番号と題材名が色分けされ、使いやすくなるよう配慮されている。	目次にマークやキャラクターの説明があり、題材番号と題材名が色分けされ、使いやすくなるよう配慮されている。			
	総合所見	<p>題材を発達段階に応じてステップアップできるよう系統的に配列し、6年間を見通して資質・能力の育成が図られるよう工夫されている。「学習マップ」や「学習の進め方」、「まなびナビ」によって、学習の目的や留意点を示したり、個別最適な学びを支援するための資料が提示されたりするなど、学びに向かう力、人間性等を養うことができるよう工夫されている。また、「まなびリンク」による豊富な動画や音源などが効果的に配置されており、分かりやすく学習ができるよう配慮されている。</p>	<p>教材の特長を生かした多様な学習が展開できるよう題材を配列し、6年間を見通して資質・能力の育成が図られるよう工夫されている。「学習マップ」や「振り返りのページ」、マークによって、学習の見通しや振り返りの観点を示したり、生活の中にある音や音楽への関心を促す教材が配置されたりするなど、学びに向かう力、人間性等を養うことができるよう工夫されている。また、「ムーブの部屋」による音源や資料などが効果的に配置されており、分かりやすく学習ができるよう配慮されている。</p>				

調査票		種目名 (図画工作)					
観点	項目・発行者名(番号)	開隆堂(9)	日文(116)	( )	( )	( )	
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	重点的に育成を図りたい題材については、文字の色や下線を付けて強調したり、キャラクターの吹き出しで提示したりするなど、知識及び技能の習得が図られるよう配慮されている。	観点を「知識」と「技能」の2項目に細分化して示し、材料や用具の取り扱いについて、写真やイラストで丁寧に説明するなど、知識及び技能の習得が図られるよう配慮されている。			
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	重点的に育成を図りたい題材については紙面で発想や構想を促すような投げかけをしたり、鑑賞作品と児童の活動を関連付けて扱ったりするなど、思考力、判断力、表現力等が育まれるよう配慮されている。	観点を「発想や構想」と「鑑賞」の2項目に細分化して示すとともに、絵や工作の題材では、ワークシートやアイディアスケッチを掲載するなど、思考力、判断力、表現力等が育まれるよう配慮されている。			
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	育成を目指す資質・能力について、特に重点的な目標について強調して示されている。また、題材の中での学びの視点と、それに対応した「ふりかえり」を示すことで、学びに向かう力、人間性等が養われるよう配慮されている。	育成を目指す資質・能力に即した学習目標が、分かりやすい言葉で示されている。また、活動を通して感じたり考えたりしてほしいことを「ふりかえり」に例示することで、学びに向かう力、人間性等が養われるよう配慮されている。			
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	題材に応じてつくり方の手順を示したり、映像資料を整備したりするなど、知識及び技能を高めながら学習を深められるよう配慮されている。また、言語活動を重視した題材や共同で行うことを意図した題材を設定し、言語活動を通して学習が深まるよう配慮されている。	全ての題材において、鑑賞している情景写真を掲載し、表現と鑑賞が一体的に学習できるよう配慮されている。特に、鑑賞の題材においては、児童が友達同士で伝え合ったり、付箋に書いて共有したりする様子を示し、言語活動を通して学習が深まるよう配慮されている。			
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	内容に関連する教科名や活動を想起させる文章を示している。また、総合的な学習の時間や特別活動との関連を図り、教科等横断的な学習ができるよう工夫されている。	他の教科等と関連のある題材についてマークを付けて示している。道徳科と関連する題材が多く、内容項目とのつながりを意識しながら学習ができるよう工夫されている。			

調査票	種目名 (図画工作)					
観点	項目・発行者名(番号)	開隆堂(9)	日文(116)	()	()	()
2 組織 配列 分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	表現と鑑賞を一体的に扱ったり、同じ材料を利用したりする系統的な構成になっており、段階的に発想や構想を広げていけるよう工夫されている。	活動のねらいや発想のきっかけ、材料や用具など学年の順序性を考慮した構成になっており、発達段階に応じて学びが深まるよう工夫されている。			
	2 季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	「みんなのギャラリー」という特設コーナーや各題材において伝統文化や関連する地域の造形を紹介している。また、学校生活から地域へと発達段階に応じて社会全体に広がるよう工夫されている。	「広がる図工」という特設コーナーにおいて全国の造形活動や美術館の取組、地域の伝統工芸などを紹介している。地域や学校の実態、児童の状況に合わせて題材を選択できるよう工夫されている。			
	3 内容と分量のバランスについて	資質・能力に応じた題材が年間を通してバランスよく設定されており、精選された題材をもとに無理なく指導計画を編成できるよう配慮されている。	児童の発達に配慮しながら題材の5つの分野がバランスよく設定されており、指導計画を地域や学校の実態に応じて編成できるよう配慮されている。			
3 使用上の 配慮や 工夫	1 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	作品のコメントは、つくり方や材料、技法についての工夫が児童の言葉で端的に示されており、作品の意図が一目で分かるよう配慮されている。	作品のコメントは、イメージしたことや発想、構想したことが詳しく児童の言葉で示されており、表現の意図を深く読み取れるよう配慮されている。			
	2 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	試したい活動や技法について、写真やアイコン、文字を用いて分かりやすく示し、指導者と児童が製作のイメージを共有できるよう工夫されている。	学習目標に対応した写真を活動順に配置し、児童が発想や構想の過程を読み取ることができ、学習の進め方が視覚的に分かるよう工夫されている。			
	3 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	目次には、年間を通して取り組む題材の写真を目標とともに提示し、年間の学習の見通しをもつことができるよう配慮されている。	目次には、教科書の使い方や学習の進め方、保護者へのメッセージを提示し、図画工作科の学び方が分かるよう配慮されている。			

調査票	種目名 (図画工作)						
観点	項目・発行者名(番号)		開隆堂(9)	日文(116)	()	()	()
	総合所見		<p>重点的に育成を図りたい資質・能力を示すとともに、その重点に対応して題材の中で学びの視点を示し、学習を振り返ることができるよう工夫されている。また、造形的な見方・考え方を働かせることができるような多様な題材を精選して提示し、年間を通してバランスよく資質・能力を育成できるよう配慮されている。</p>	<p>育成を目指す資質・能力を5項目に細分化して示すとともに、活動を通して感じたり考えたりしてほしいことを「ふりかえり」に例示しており、次の学習意欲の涵養へとつなげるよう工夫されている。また、造形的な見方・考え方を学びの視点として示し、題材を通してバランスよく資質・能力を育成できるよう配慮されている。</p>			

調査票	種目名 (家庭科)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	開隆堂(9)	()	()	()
1 内容	1 「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	小題材ごとに具体的なめあてとそれに対応した振り返りを位置付け、学習内容の定着を確認できるようにし、知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	各題材で、基礎的・基本的な内容から段階的に学習を積み重ねたり、繰り返し取り組んだりできるようにし、知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。			
	2 「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	全ての大題材を「課題発見」「課題解決・実践活動」「評価・改善」の3つのステップで構成し、問題解決的な学習が展開できるよう工夫されている。	各題材の導入場面で、学習のめあてとともに、主に働かせる生活に係る見方・考え方を示し、思考を深めながら学習が進められるよう工夫されている。			
	3 「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	題材の学習後にできるようになったことや成長を実感できる「成長の記録」のページを設け、次の学習に向けた意欲が高まるよう工夫されている。	各題材の学習の初めに「マイめあて」と学習の最後に「生活に生かそう」の欄を設け、家庭実践に向けた意欲につながるよう工夫されている。			
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	各場面に「話し合おう」「調べよう」「考えよう」などの活動を位置付け、思考ツールの活用の例や言語活動の具体的な内容を示すことで、実践的・体験的な活動の充実が図られるよう工夫されている。	各題材の「生かす・深める」の段階にレポート作成、考察・発表などの活動を示し、題材の終わりに実践に向け考えを記述する欄を設けて、実践的・体験的な活動の充実が図られるよう工夫されている。			
	5 他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	他教科や中学校の学習と関わりがある内容にマークをつけて、具体的な内容を示し、学習との関連が分かるよう工夫されている。	2学年の学習をつなぐページや中学校の学習内容とのつながりをまとめたページを設け、学習との関連が分かるよう工夫されている。			

調査票	種目名 (家庭科)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	開隆堂(9)	()	()	()
2 組織 配列 分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	「消費生活・環境」の題材を5年生の早い段階に配列することで、2年間の学びを「消費生活・環境」の内容と関連させて扱うことができるよう工夫されている。	5年生では、基礎的・基本的な内容を習得し、6年生では、それを発揮して学習や生活に生かすことができる配列とし、学びがつながるよう工夫されている。			
	2 季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	各題材の内容に関わる「日本の伝統」や「プロに聞く」のコーナーを設け、伝統文化や身近な方との生活の結び付きが実感できるよう工夫されている。	47都道府県すべてを、食文化やキャリアのテーマで取り上げて掲載し、自分たちの地域や他地域、社会との関連が実感できるよう工夫されている。			
	3 内容と分量のバランスについて	学習内容の関連を図って大題材を構成するとともに、5年生と6年生の内容が同じ時期に実施できるよう配列が工夫されている。	題材の内容を細分化して示し、段階的に学習を進めたり、実態に合わせて組み合わせたり、組み換えたりできるよう工夫されている。			
3 使用上の 配慮や 工夫	1 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	専門的な用語は脚注を用いて簡潔に表現し、分かりやすいよう配慮されている。	言葉の意味をつかみやすくするために、単語が行をまたがないよう配慮されている。			
	2 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	実際に手をのせて用具の正しい使い方を確かめられるような実寸大の巻末資料や、利き手の違いに対応した用具の使い方の資料を掲載するなど、作業する様子が分かりやすいよう工夫されている。	調理実習や製作の手順を見開きかつ横流れのレイアウトで示したり、巻末に大きめの写真やイラストで実習や製作に関わるポイントを掲載したりし、作業する様子が分かりやすいよう工夫されている。			
	3 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	表紙の折り込みを広げると、家庭科につながるこれまでの学びや2年間で学習する内容、中学校へのつながりが一目で分かるよう示しており、学習の見通しがもてるよう工夫されている。	巻末に家庭科の学習でよく使われる用語と動画資料の二次元コードの掲載ページを設け、目的に応じて、用語や作業の手順について、自分でも調べることができるよう工夫されている。			

調査票		種目名 (家庭科)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	開隆堂(9)	()	()	()
	総合所見	<p>大題材を3つのステップによる構成とし、具体的な学習活動や学習を深めるためのコンテンツを示し、問題解決的な学習の展開を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育むことができるよう工夫されている。また、知識及び技能のポイントを確認できる資料や成長の記録が一覧できる紙面により、学習に見通しをもって取り組み、自分で学習を進めることができるよう配慮されている。</p>	<p>基礎的・基本的な学習を段階的に積み重ね、知識及び技能の習得を図り、それらを生活に生かすことができる学習の展開を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育むことができるよう工夫されている。また、気付きや課題につながる問いかけに着目しながら、学習を自分事として捉えたり、資料や動画リンクを活用したりして、自分で学習を進めることができるよう配慮されている。</p>			

調査票		種目名 (保健)					
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	大日本 (4)	大修館 (50)	文教社 (207)	光文 (208)	
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	実験や実習、QRコンテンツの活用を通して、知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	単元の終わりに振り返りを設定し、知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	毎時間の最後にウェブクイズを用意し、知識の確実な習得が図られるよう工夫されている。	QRコンテンツによる動画の視聴を通して、知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	各章末に「学習のまとめ」を設け、知識の確実な習得が図られるよう工夫されている。
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	写真や絵を使って気付きを促し、自分の考えを記入する欄を豊富に取り入れ、主体的に課題解決に取り組み、考えを深められるよう工夫されている。	学習ゲームにより課題への気付きを促し、話し合う活動を位置付けて、主体的に課題解決に取り組み、考えを深められるよう工夫されている。	著名人との対話から課題意識をもたせ、思考・判断したことを表現する欄を設け、主体的に課題解決に取り組み、考えを深められるよう工夫されている。	健康への動機付けから学習課題を設定し、調べたり考えたりするミッションを設け、主体的に課題解決に取り組み、考えを深められるよう工夫されている。	各単元冒頭の「見つけよう」で自分の健康課題に気付けさせ、伝え合う活動を重視して、主体的に課題解決に取り組み、考えを深められるよう工夫されている。
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	「まとめる・生かす」では学習を踏まえて自分の生活を見直す活動を設け、実践に結び付けるよう配慮されている。	「活かそう」では、学びを深め、今後の生活につなげていく活動を設定し、実践に結び付けるよう配慮されている。	「まとめ 生かそう 伝えよう」では、自己の課題を修正する活動を適宜設け、実践に結び付けるよう配慮されている。	「もう一歩先の自分へ」では、これからの自分に何が必要なのかを考える活動を設定し、実践に結び付けるよう配慮されている。	「学んだことを生かそう」では、学習内容を自分の生活に生かす活動を設定し、実践に結び付けるよう配慮されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	「深める・伝える」では、更に考えたり意見やその理由を相互に表現し合ったりする活動を設定し、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	「話し合おう」では、思考したことを記述し対話や発表をして他者に伝える活動を取り入れ、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	「話し合おう」では、友達と話し合い、互いの考えを共有したり思考を広げたりする対話的な活動を通して、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	「これからの自分の課題を考えよう」では、単元のまとめとして伝え合う活動を位置付けて、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	「話し合おう」では、資料を読んだり、自分の考えを書いたりしながら皆で話し合う活動を通して、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	道徳などの教科や他学年の保健、UD、SDGsなどの主な目標と関連付けるよう配慮されている。	算数などの教科や他学年の保健、オリパラ教育、キャリア教育などと関連付けるよう配慮されている。	道徳などの教科や他学年の保健、共生社会や障がい者理解などと関連付けるよう配慮されている。	他学年の保健、防災教育や個性を大切にする社会的な取組などと関連付けるよう配慮されている。	理科などの教科や他学年、中学校保健、SDGs、現代的諸課題などと関連付けるよう配慮されている。
2 組織 配分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	巻頭で学習の進め方を確認し、各単元4つのステップで学習を進めながら、自分ごととして主体的に学習できるよう構成されている。	単元はじめに学習の流れを確認し、学習のまとめを設定することで、これからの生活に生かしていく力を育むよう構成されている。	巻頭で学び方を確認し、各単元とも課題をつかみ、広げ・深め、振り返るという3つのステップで学ぶことができよう構成されている。	単元を通して、自己の課題を見つけ、解決していくための学習活動が多く取り入れられるよう構成されている。	単元全体の見直しをもって学習が進められるよう、身近な生活との関連を図り、日常生活での実践に結び付けられるよう構成されている。
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	絵や写真、吹き出しを効果的に活用し、地域の身近な問題として課題意識を高めるよう工夫されている。	写真や資料を豊富に活用し、話し合い活動を通して地域の実情との関連を図るよう工夫されている。	絵や図などを示し、話し合いや調べ学習により地域の環境づくりへの理解を深めるよう工夫されている。	地域の取組について取り上げ、話し合いや調べる活動を通して、実践化を図るよう工夫されている。	地域の特性を考慮し、施設や環境づくりに目を向け実践化を図るよう工夫されている。

調査票		種目名 (保健)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	大修館(50)	文教社(207)	光文(208)
	3 内容と分量のバランスについて	基本的に1項目を1単位時間4ページで構成し、内容や分量が適切に配分されている。	実体験から主体的に課題解決を図ることができるよう内容や分量が適切に配分されている。	1単位時間あたり見開き1ページを基本の構成とし、内容や分量が適切に配分されている。	学習を子どもの目線、思考から、実践につながるよう、内容や分量が適切に配分されている。	1単位時間あたり見開き1ページを基本の構成とし、内容や分量が適切に配分されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1 分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	重要語句の説明や補足説明を脚注で効果的に取り入れ、発達段階に応じて分かりやすく表現されている。	様々なキャラクターによる専門的知識や生活に生かすためのアドバイスが分かりやすく表現されている。	専門用語を写真入りで解説したり、専門家の話を取り入れたりしながら、分かりやすく表現されている。	内容を身近に感じられるよう、対話している子どものキャラクターを用いて分かりやすく表現されている。	用語などの解説や吹き出しによる専門家のアドバイスを効果的に取り入れ、分かりやすく表現されている。
	2 分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	絵や写真は、人権や福祉、男女の表現に配慮され、固定概念を生まないよう表記されている。	UDに配慮した字体や配色で構成され、視覚的に見やすくなるよう表記されている。	改行位置の工夫や振り仮名表記をつけることで、理解しやすうよう表記されている。	日常の生活場面の写真を多く使用し、実生活と結びつけられるよう表記されている。	絵や写真を多く使用し、児童の興味・関心を引きやすくするよう表記されている。
	3 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	目次を見開き2ページで構成し、学年のつながりが一目でわかるよう配慮されている。	脚注にミニ知識を豊富に掲載し、生活に役立つ知識を習得できるよう配慮されている。	内容が一目でわかる脚注マークで構成され、索引しやすいよう配慮されている。	脚注に豆知識やメッセージを豊富に掲載し、子どもの思考を促すよう配慮されている	見開きの「学習の進め方」で教科書の構成を説明し、学びやすくなるよう配慮されている。
	総合所見	児童の考えを記入する欄を豊富に取り入れるとともに、自分の生活を見直す活動を設定し、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。また、授業の4つのステップの中に、実験や実習を効果的に位置付け、実践に結び付けられるよう配慮されている。	学習ゲームにより課題への気付きを促しながら、今後の生活につなげていく活動を設定し、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。また、これからの生活に生かしていく力を育む活動を効果的に位置付け、実践に結び付けられるよう配慮されている。	著名人との対話から課題意識をもたせ、自己の課題を修正する活動を適宜設定し、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。また、3つのステップで課題をつかませる工夫や学習を深める場を位置付け、実践に結び付けられるよう配慮されている。	調べたり考えたりする課題を位置付けながら、自分にとってこれから何が必要なかを考える活動を設定し、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。また、章末に自分の行動を宣言する場を位置付け、実践に結び付けられるよう配慮されている。	伝え合う活動を重視するとともに、学習内容を自分の生活に生かす活動を設定し、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。また、身近な生活との関連を図り、日常生活での実践に結び付けられるよう配慮されている。

調査票		種目名 (保健)				
観点	項目・発行者名 (番号)	学研 (224)				
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	専門家による説明や実習を活用し、知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。			
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	自分自身を振り返ったり予想したりして学習課題を設定し、対話的な活動を位置付け、主体的に課題解決に取り組み、考えを深められるよう工夫されている。			
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	「学びを生かす」では、学習してきたことを活用して今後の生活に生かす活動を設定し、実践に結び付けるよう配慮されている。			
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	「学習の進め方の2」では話し合ったり、説明したりして課題の解決に取り組む活動を設定し、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。			
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	生活などの教科や他学年の保健、キャリア教育、防災教育などと関連付けるよう配慮されている。			
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	「学習の進め方」を単元の最初に明示し、身近な問題・自らの問題として取り組めるよう構成されている。			

調査票		種目名 (保健)					
観点	項目・発行者名(番号)	学研(224)					
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	地域の様子や活動などに目を向け、調べる活動を通して、学習内容の理解を深められるよう工夫されている。				
	3	内容と分量のバランスについて	1単位時間あたり、見開き4ページを基本構成とし、内容や分量が適切に配分されている。				
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	課題把握のために吹き出しの問いを効果的に取り入れ、発達段階に応じて分かりやすく表現されている。				
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	大きな写真や絵が効果的に提示され、学習の導入時に意欲が高まるよう表記されている。				
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	工夫された様々な種類のマークから、一目で必要な情報が分かるよう配慮されている。				
	総合所見		対話的な活動を位置付けるとともに、今後の生活に生かす活動を設定し、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。また、学習の進め方を単元的最初に明示し、身近な問題・自らの問題として取り組む活動を効果的に位置付け、実践に結び付けられるよう配慮されている。				

調査票		種目名 (外国語)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	開隆堂(9)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)	
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	知識及び技能の習得のために、単元の目標となる活動に向けて、具体的なイメージをもち、スモールステップで学ぶことができるよう工夫されている。	知識及び技能の習得のために、単元構成を明確に示し、言語活動を繰り返して身に付いた力を年間3回の確認場面により確かめられるよう工夫されている。	知識及び技能の習得のために、年間3回の大きな言語活動の目標を軸として、スパイラルに言語活動に取り組むことができるよう工夫されている。	知識及び技能の習得のために、単元の導入で、目的や場面を具体的にイメージし、段階を踏んだ言語活動に繰り返し取り組めるよう工夫されている。	知識及び技能の習得のために、学年や単元の目標を明確に設定し、見直しをもちながら段階的に言語活動を重ねられるよう工夫されている。
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	目的や場面、状況等を理解し、各単元のYour Goal及び振り返りまでの学習過程を通じて、思考力、判断力、表現力等を育めるよう配慮されている。	既習の表現を繰り返し使用して考えや気持ちを伝え合う活動を単元を通じて設定し、思考力、判断力、表現力等を育めるよう配慮されている。	各Unitの最後に目的や場面、状況等に応じた総合的な言語活動に取り組みながら、思考力、判断力、表現力等を育めるよう配慮されている。	単元の導入で目的や場面、状況等を理解し、見直しをもって活動に取り組みながら、思考力、判断力、表現力等を育めるよう配慮されている。	既習表現を目的や場面、状況などに応じて活用する過程を繰り返し設定し、思考力、判断力、表現力等を育めるよう配慮されている。
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	Over the Horizonなど、言葉の背景にある文化を知ることや言語活動を通じて、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うよう配慮されている。	Around the Worldなど、題材に関連する世界の文化や生活を知ることを通じて、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うよう配慮されている。	Hello World!など、外国語の背景文化に対する理解や言語活動を通じて、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うよう配慮されている。	Let's Look at the World など世界の様子とのつながりを知ることを通じて、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うよう配慮されている。	Let's watch and think. など、世界の子どもの暮らしに触れることを通じて、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うよう配慮されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	Your Goalなど、児童が考えを形成し再構築して発表するなど、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせるための活動ができるよう工夫されている。	Let's TryやActivityなど、児童が習得したことを活用してコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせるための活動ができるよう工夫されている。	Let's Tryなど、それまでの活動で学んだことを生かして、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせるための活動ができるよう工夫されている。	Activityを重ね、気づきを促す活動を繰り返すことにより、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせるための活動ができるよう工夫されている。	Let's TryやPlus Oneで考えの形成、再構築の機会を設け、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせるための活動ができるよう工夫されている。
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	中学年との接続や、他教科などとの関連を明示し、国語、算数、道徳、家庭などとのつながりに配慮されている。	中学年との接続や、他教科などとの関連を明示し、国語、理科、社会、道徳、特別活動などとのつながりに配慮されている。	中学年との接続や、他教科などとの関連を意識し、社会、理科、算数、道徳、音楽などとのつながりに配慮されている。	中学年で慣れ親しんだ表現や、他教科などとの関連を意識し、国語、社会、家庭科、道徳などとのつながりに配慮されている。	中学年で慣れ親しんだ表現や、他教科などとの関連を意識し、国語、社会、理科、道徳などとのつながりに配慮されている。
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	巻頭には学年のテーマ、各単元の冒頭には到達目標を示し、各活動のふり返りや「CAN-DOの樹」で児童が学びを自覚できるよう構成されている。	巻末に学年の「CAN-DOチェック」を示し、各レッスン後に児童が自己評価を通して学びを自覚しながら学習を進められるよう構成されている。	各学年が3つのUnitで構成され、児童がレッスンごとにスパイラルに言語活動に臨み、各Unit、学年の最後に到達度を自覚できるよう構成されている。	巻頭には各学年の学習目標を示し、児童自身の目標と併せて学習を進められるとともに、単元末では学んだことを振り返ることができるよう構成されている。	巻頭と各単元冒頭に到達目標を明示し、児童と目標を共有しながら学習を進め、単元の最後で児童が到達度を確認できるよう配慮して構成されている。
	2	季節、社会的行こと等、地域の実情との関連付けについて	伝統文化や食文化など、自国や世界の多くの国々の生活の様子に触れ、多文化理解への関連が図られる題材が用いられている。	日本や世界の行ことやお祭り、文化について知る活動など、多文化・異文化理解との関連が図られる題材が用いられている。	日本や地域の紹介をする活動など、児童の興味・関心を国際交流につなげることのできる題材が用いられている。	都道府県の名所・名物、世界で活躍する日本人など、自国と海外との関連について考えることのできる題材が用いられている。	日本の伝統文化、郷土のよき、世界で活躍する日本人など、自国の話題と関連付けながら国際理解を深める題材が用いられている。

調査票	種目名 (外国語)						
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	開隆堂(9)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)	
	3	内容と分量のバランスについて	内容を精選し、言語材料を適切に配列することで、児童が自信をもって言語活動に取り組むことができるよう配慮されている。	構成を統一した単元の配列により、児童が見通しをもちスモールステップで活動に取り組むことができるよう配慮されている。	内容を精選し、言語材料が段階的に配列されるよう工夫されており、自信をつけながら学ぶことができるよう配慮されている。	精選した内容を配置して単元が構成されており、児童が習得したことを活用して表現する活動が確保できるよう配慮されている。	「学年の目標」と学年のテーマの下、教材が系統的に配列され、児童が発達段階に即して考えることができるよう配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	単元の目標や言語活動の内容がイラストとともに分かりやすく示され、児童が自分で判断しながら活動できるよう工夫されている。	イラストや写真とともに、発話のモデルが吹き出しで表記され、内容を推測しながら活動が行いやすいよう工夫されている。	HOP、STEP、JUMPまでの流れが具体的に示され、見通しをもって学びを自覚しながら活動が行いやすいよう工夫されている。	各単元の活動の流れが統一され、単元のゴールに向かって各活動で行うことの見通しをもちやすいよう工夫されている。	ゴールまでの活動の流れを分かりやすく示し、学習の目的に対する学習過程が表記され、活動が行いやすいよう工夫されている。
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	豊富なモデル映像やアニメーションを二次元コードにより配置し、自然なコミュニケーションのイメージをもつことができるよう工夫されている。	余白や行間にゆとりをもたせ、児童が読みやすい配置や配色などにも配慮し、各頁の活動についての情報が分かりやすいように工夫されている。	図や色を効果的に配して、各学年3つのUnitの活動の流れや具体的な目標が分かるよう紙面構成を統一し、理解しやすいように工夫されている。	単元のはじめに二次元コードにより内容を捉えるための映像を配置し、コミュニケーションの見通しをもつことができるよう工夫されている。	各Unitの統一されたレイアウトや色、線の種類などにも配慮し、特徴あるフォントを用いるなど、児童が読み書きしやすいように工夫されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	別冊による絵辞典にはジャンル別に語句や例文を整理して示し、発信活動の際に使いやすいよう配慮されている。	各学年別冊の絵辞典により、カテゴリー別の語句の中から使いたい語彙が整理され、使いやすいよう配慮されている。	別冊による絵辞典にはカテゴリー別語彙がイラストや二次元コードとともに整理され、使いやすいよう配慮されている。	巻末に身近な表現やよく使う語彙をまとめたイラスト付きリストを配し、必要に応じて使いやすいよう配慮されている。	カテゴリーで語彙を整理した別冊による絵辞典では、前学年で学習した表現に印を配し、使いやすいよう配慮されている。
	4	学習者用デジタル教科書について(小・英語のみ)	児童のペースで音声や動画を再生したり、発音の練習ができたりするなど、個別最適な学びができるよう工夫されている。	動画やWord Bookの音声を、児童が表現活動の充実のために活用できるなど、個別最適な学びができるよう工夫されている。	音声や動画を視聴したり、単語の音と意味を学ぶことができたりするなど、個別最適な学びができるよう工夫されている。	「まなびリンク」により、活動のモデルを音声や動画で視聴することができるなど、個別最適な学びができるよう工夫されている。	豊富な音声や動画を視聴したり、ハイライト表示やスタンプ機能を使用したりして、個別最適な学びができるよう工夫されている。
	総合所見	単元の明確な目標の下で、コミュニケーションのモデルを音声や動画で確認しながら言語活動を行うことを通して、コミュニケーション能力の基礎が育成されるよう配慮されている。また、表現活動や振り返りの場面を適切に位置付けるなど児童が主体的に学習できるよう工夫されている。	目指す姿を具体的に示し、単元を通じて繰り返し言語活動を行うことを通して、コミュニケーション能力の基礎が育成されるよう配慮されている。また、年間の学習の見通しを明示し、各単元や総括的評価の場面で振り返りを適切に位置付けるなど主体的に学習できるよう工夫されている。	場面を明確にした言語活動に繰り返し取り組むことを通して、コミュニケーション能力の基礎が育成されるよう配慮されている。また、年間3つのUnitにより目標への過程を明確化し、児童が見通しをもつことと振り返りを適切に行うなど主体的に学習できるよう工夫されている。	デジタル教材などで気付きを促しながら、場面や状況を意識した言語活動に取り組むことを通して、コミュニケーション能力の基礎が育成されるよう配慮されている。また、各単元の言語活動の適切な振り返りを通して、児童が主体的に学習できるよう工夫されている。	設定されている各学年の目標に向けて、各Unitで言語活動に取り組むことを通して、コミュニケーション能力の基礎が育成されるよう配慮されている。また、各Unitや学年末への見通しをもつことと振り返りを計画的に行いながら、主体的に学習できるよう工夫されている。	

調査票		種目名 (外国語)					
観点	項目・発行者名(番号)	啓林館(61)	( )	( )	( )	( )	
1 内容	1	「知識及び技能」の習得を図るための配慮や工夫について	知識及び技能の習得のために、単元の目標をイメージとともに確認し、慣れ親しんだ既習の表現を用いた言語活動を積み重ねられるよう工夫されている。				
	2	「思考力、判断力、表現力等」を育むための配慮や工夫について	目的や場面、状況などを理解し、見通しをもって言語活動に取り組むことで、思考力、判断力、表現力等を育めるよう配慮されている。				
	3	「学びに向かう力、人間性等」を養うための配慮や工夫について	Did you know? など、異文化に関する情報を題材に併せて知ること、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うよう配慮されている。				
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	Activity等で、学習したことを生かして考えたことを再構築し、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせるための活動ができるよう工夫されている。				
	5	他の教科等との関連及び他学年の内容との関連について	中学年で慣れ親しんだ表現や、他教科等との関連を意識し、国語、算数、理科、社会、道徳、総合的な学習の時間、防災教育などのつながりに配慮されている。				
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	巻末にCan-Do List、各単元冒頭に到達目標を示し、最後にLook Backで児童が到達度を確認できるよう配慮して構成されている。				
	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	世界の人たちの生活や文化を知る活動や、日本の魅力を発信する活動を通して、国際理解が図られる題材が用いられている。				

調査票		種目名 (外国語)				
観点	項目・発行者名(番号)	啓林館(61)	()	()	()	()
	3	内容と分量のバランスについて	児童が発達段階に応じて思考、表現できるよう工夫して教材が配置されており、言語活動がバランスよく行われるよう配慮されている。			
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	各単元のはじめのページに単元の目標と各ステップのめあてを示し、活動が行いやすいよう工夫されている。			
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	レイアウトに統一感をもたせたり、文字の色やフォントに配慮し、図表などのデザインを工夫したりすることにより見やすいよう工夫されている。			
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	巻末にカテゴリーで語彙を整理したWord Listを配し、自己表現活動の際に使いやすいよう配慮されている。			
	4	学習者用デジタル教科書について (小・英語のみ)	豊富な音声や動画を視聴したり、言語活動のゴールに向けて表現例を比較したりできるなど、個別最適な学びができるよう工夫されている。			
	総合所見		デジタル教材等を活用しながら、思考力・判断力を発揮する言語活動を繰り返すことを通して、コミュニケーション能力の基礎が育成されるよう配慮されている。また、学習の見通しと振り返りを適切に行いながら学習に取り組むことにより、主体的に学習できるよう工夫されている。			

調査票		種目名 (特別の教科 道徳)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	光村(38)	日文(116)	光文(208)
1 内容	1 自己を見つめることができるような配慮や工夫について	各教材最後の「考えよう」に、「みんなで考えたいこと」を問いかけの形で示し、学習する道徳的価値を自分事として捉えられよう配慮されている。	教材文冒頭のキャラクターの問いかけについて考えることにより、ねらいとする道徳的価値や内容についての自分の姿を見つめられよう配慮されている。	第2教材に、道徳の学び方を示し、児童が教材と出会うことにより生まれる問いや、自分との比較での気付きを促すよう配慮されている。	児童の思考の流れに沿った発問を設定し、教材の冒頭に自分を振り返る発問例を示すことにより、学習内容を自分事として捉えられよう配慮されている。	各教材の冒頭に経験を想起する「導入」を位置付け、主題に関わる問題意識をもつことで、教材の内容への興味・関心を抱くよう配慮されている。
	2 物事を多面的・多角的に考えることができるような配慮や工夫について	価値に関連する書籍や、教材に登場する人物・自然の動画を紹介し、児童が道徳的価値について実感的に考えることができるよう配慮されている。	教材文のキーワードについて学級全体で話し合うための問いや活動を設定し、友達の考えを基に自分の道徳的価値を考えることができるよう配慮されている。	自分自身のことや相手にかけてあげたい言葉などを伝え合う活動を設定し、対話を通して道徳的価値について広く考えることができるよう配慮されている。	道徳的価値について、実行する上での難しさや大切なことを考える問いを設け、自己を見つめ直すことができるよう配慮されている。	考えをまとめたり表したりするためのツールを複数紹介することを通して、児童が自分に合う方法を選択しながら学習できるよう配慮されている。
	3 自己の生き方について考えを深めることができるような配慮や工夫について	吟味・精選された発問例により、児童がこれまでの自分を振り返り、学習したことをこれからの生き方に生かしていくことができるよう配慮されている。	6年間の成長をイメージした教材配列がなされ、考えたことや気付いたことが児童の道徳性を育み、発達段階に応じた学習ができるよう配慮されている。	「考えるヒント」欄において、様々なアイデアを提案し、多様な学習活動の中で児童の学びや考えを深めることができるよう配慮されている。	「個性の伸長」「感謝」の項目を重視した、自分のよさを見つめられる教材を意図的に配列し、自分や周りの人を大切にすることを育むよう配慮されている。	「学びの足あと」により、学習後の心の動きや学びを継続的に記すことで、成長を実感し、課題や目標を見つけることができるよう配慮されている。
	4 問題解決的な学習や体験的な学習など、多様な方法を構想するための配慮や工夫について	動作化や役割演技を通して考えを深められるようにし、問題を見つけ、話し合う学習過程を示して、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。	モラルスキルトレーニング、役割演技をすることや、イラスト、挿絵から児童自らが問題を見つけ、主体的に考えることができるよう配慮されている。	役割演技の手順が丁寧に示され、体感することや挿し絵から感じたことについて話し合うことを通して、考えを深められるよう配慮されている。	役割演技や日常を想起する写真や挿絵など、児童の思考を深める手立てを具体的に示し、問題解決的な学習を進められるよう配慮されている。	学び方が丁寧に示されており、日常場面を想定した体験的な活動の場面を各学年に設定するなど、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。
	5 他の教科等の内容及び現代的な諸課題などとの関連について	いじめ防止について、教材と資料を組み合わせたユニットを設定し、現代的な課題についての学習ができるよう配慮されている。	他の教科・領域との関連が分かる学習内容一覧が示され、他の教科とつなげながら学習ができるよう配慮されている。	他の教科等との関連が分かる学習の手引きを教材末に設け、他の教科とつなげながら学習ができるよう配慮されている。	3年生以上の特設ページにSDGsとの関わりを明示し、現代的な諸課題と関連した学習ができるよう配慮されている。	生命の尊厳・自然、共生などを扱った教材を全学年に設定し、現代的な諸課題について考えることができるよう配慮されている。
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連について	全学年の「重点指導内容項目」として、「生命の尊厳」を設定し、各学年3教材ずつ掲載することにより、繰り返し学習できるよう配列されている。	同内容項目の教材を時期を変えて設定することにより、児童の成長を見取るようにするとともに、より深く新たな観点で学習できるよう配列されている。	目次において教材を3つのまとまりに分けて表記することにより、児童の学校生活に合わせて3つの学期で段階的に学習できるよう配列されている。	1学期に集団生活や人間関係、3学期に振り返りや深化を意識した教材を設定することにより、時期に応じた学習ができるよう配列されている。	「重点主題」を複数時間構成することにより、同一テーマを多角的な視点から考えたり、学びを深化したりできるよう配列されている。

2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	地域行事を題材にした資料などを題材にすることにより、児童が自分の地域を考えながら学習できるよう工夫されている。	全国共通の行事や、実在するお祭りなどを題材にすることにより、地域や家庭と連携した学習が展開できるよう工夫されている。	3年生以上の巻末に、地域の伝統文化や活動を紹介することにより、地域のよさについての学習が展開できるよう工夫されている。	伝統文化に関わりのある人などを題材にすることにより、地域と連携した学習が展開できるよう工夫されている。	日本全国の自然や文化、遺産などを題材にすることにより、地域のよさに関する学習が展開できるよう工夫されている。	
	3	内容と分量のバランスについて	全学年34～35教材を取り上げ、4つの視点に関わる教材数を同程度網羅し、発達段階を踏まえ、内容が少しずつ高度になるよう配慮されている。	全学年34～35教材を取り上げ、すべての内容項目が網羅されており、学校の実態に合った年間指導計画が立てられるよう配慮されている。	全学年34～35教材を取り上げ、教材とコラムを組み合わせたユニットにより、地域、学校の実態に合わせた扱いができるよう配慮されている。	全学年34～35教材を取り上げ、さらに5教材を掲載することにより、地域、学校の実態に即した弾力的な取り扱いができるよう配慮されている。	
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	ひらがな表記による誤解を招きそうな熟語は、漢字を使って表記するとともに、振り仮名を付して読み取りやすくなるよう配慮されている。	低学年では、読み誤りがなく、言葉のまとまりが分かりやすくなるように分かち書きや文節改行を行い、読み取りやすくなるよう配慮されている。	読みの負担を軽減するため、熟語の混ぜ書きを極力避け、当該学年の担当漢字には全て振り仮名を付して読み取りやすくなるよう配慮されている。	児童の教材に対する理解を助ける冒頭リード文において、本時の学習内容の手掛かりとなるキーワードを示して、読み取りやすくなるよう配慮されている。	前学年まで学習した漢字を使用し、2年生までは分かち書き、3年生までは全ての漢字に振り仮名を付し、読み取りやすくなるよう配慮されている。
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	文章を精選したり、共感を呼ぶ質の高い挿絵を付けたりして、今を生きる児童が道徳的価値について深く考える助けとなるよう配慮されている。	多様性に配慮したユニバーサルデザインフォントや、色覚の個人差を問わないカラーユニバーサルデザインを採用するなど、表記が配慮されている。	物語教材における挿絵に登場人物の名前を添え、情報を整理することで、児童が本文のストーリー展開を理解する一助となるよう配慮されている。	全教材見開き単位で構成され、挿絵と文を効果的に配置することで、文で読み取ったことを挿絵で確認できるようにするなど、表記が配慮されている。	登場人物の男女比やイラストの配色、大きな写真やイラストが引き立つよう文章や挿絵のバランスを意識するなど、表記が配慮されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	内容項目別の目次を掲載することにより、児童が価値を意識し、1年間の学習に見通しをもつことができるよう配慮されている。	目次で、体験学習・問題解決学習に適した教材について表示することにより、具体的な学習活動を意識できるよう配慮されている。	巻末に1時間ごとの学びを振り返るシートを添付し、1年間の学びや心の成長を振り返ることができるよう配慮されている。	いじめ防止ユニット「人との関わり」を目次に明示し、重点的な学習であることの意識付けが図られるよう配慮されている。	注釈や図を教材文冒頭の下段に掲載することにより、児童が教材の内容について理解しやすいよう配慮されている。
総合所見		道徳的価値に迫ること、自身の今後の生き方を考えることの2つの観点で発問を絞り、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、教材の文章を精選したり、共感を呼ぶ質の高い挿絵を付けたりして、今を生きる児童が道徳的価値について深く考える助けとなるよう配慮されている。	役割演技や解決に向けての話合いなど、体験的な学習や問題解決的な学習による多様な指導方法を示すことにより、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、全国共通の行事や、実在するお祭りなどの題材を通して、地域や家庭と連携した学習が展開できるよう配慮されている。	話合い活動の仕方や、役割演技の方法を、図やイラスト、言葉で具体的に示すことにより、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、物語教材における挿絵に登場人物の名前を添え、情報を整理することで、児童が本文のストーリー展開を理解する一助となるよう配慮されている。	特設ページ「ぐっと深める」において、児童の思考を深めるための手立てを写真で例示することにより、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、全教材に内容項目、キーワードとリード文や登場人物紹介が付記され、児童が教材内容を素早く理解できるよう配慮されている。	多面的・多角的に考えを深めることができるよう、発達段階に応じた思考ツールを掲載することにより、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、全学年34～35教材に加え、さらに5教材を付録として取り上げ、学校や地域の実態に即した弾力的な取り扱いができるよう配慮されている。	

**調査票** 種目名 (特別の教科 道徳)

観点	項目・発行者名(番号)	学研 (224)				
1 内容	1 自己を見つめることができるような配慮や工夫について	所々に特設ページ「深めよう」を設け、心の動きを可視化したり、自分だったらどうするかを考えたりしながら自己を見つめられるよう配慮されている。				
	2 物事を多面的・多角的に考えることができるような配慮や工夫について	異なる立場の意見や、価値を達成するために大切なことについて考えるシートを設定し、道徳的価値について広く考えることができるよう配慮されている。				
	3 自己の生き方について考えを深めることができるような配慮や工夫について	発問欄で自己を見つめて考えを深める投げかけがなされるとともに、記入欄を配置し、児童が自由に意見や感想を記録できるよう配慮されている。				
	4 問題解決的な学習や体験的な学習など、多様な方法を構想するための配慮や工夫について	役割演技を通して主体的な学びにつながるようにするとともに、内容項目に関する詩などを通して、考えを深められるよう配慮されている。				
	5 他の教科等の内容及び現代的な諸課題などとの関連について	現代的な諸課題との関連を示すマークを資料名の下に配置し、自分事として意識しながら学習できるよう配慮されている。				
2 組織 配列 分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	「いのち」「多様性」「キャリア」の異なる内容項目のうち、2教材を続けて設定することで、生き方への考えを深めるよう配列されている。				

	2	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	地域ごとの文化や郷土の偉人について、資料や特設のページに掲載し、自分の地域を意識して学習できるよう工夫されている。				
	3	内容と分量のバランスについて	全学年34～35教材を取り上げ、発達段階に応じたテーマを設け、複数教材を用いて考えを深めていくことができるよう配慮されている。				
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かりやすさに配慮した語句や文章による表現について	本文の記述を平易にしたうえで、読みやすさに配慮した改行を施し、1年生には、カタカナにも振り仮名を付して、読み取りやすくなるよう配慮されている。				
	2	分かりやすさに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	児童の理解を助け、親しみをもてる多彩な挿絵を掲載するとともに、多様性に配慮し、登場人物を様々な表現で描くなど、表記が配慮されている。				
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使いやすさへの配慮について	目次にユニット学習の色表示や、SDGsに係るアイコンを表示し、重点や関連内容を意識できるよう配慮されている。				
	総合所見		1つのテーマのもと、内容項目が異なる2教材を連続して学ぶユニット教材を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、所々に特設ページ「深めよう」を設け、心の動きを可視化したり、自分だったらどうするかを考えたりすることで自己を見つめられるよう配慮されている。				